

平成24年整備機器(リフト以外)事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	機器名	事故発生状況	事故の状況										
			事故の発生場所					人身事故の内訳			物損事故の内訳		
			ディーラー	専門家	ガソリンスタンド	用品店	その他	1か月以内負傷	1か月以上負傷	死亡	乗用車	トラック	その他
1	門型洗車機	安全装置の付いていない洗車機と壁の隙間に従業員が挟まって死亡した。			○					○			
2		機器作動不良によりトップノズルで車両を破損させた。	○								○		
3		〃	○								○		
4		ルーフボックスを付けた状態では洗車できないことになっているにもかかわらず洗車したため、トップブラシがルーフボックスに引っかかり車両を損傷させた。	○									○	
5		スポイラー回避スイッチを押したが、トップブラシがリヤワイパーを引っ掛けて損傷させた。ワイパーをガムテープ等で固定するよう勧めていたが、実施していなかった。	○									○	
6		リヤミラー回避スイッチを押し忘れていたため、サイドブラシにてリヤミラーを破損させたと思われる。	○									○	
7		洗車中にブラシが戻らなくなったので、ポールでブラシを押したところポールに付いていたロープがブラシに絡み付いて指を負傷した。ブラシが戻らなくなった原因はエア圧不足と思われる。	○							○			
8	タイヤチェンジャ	タイヤ・チェンジャの点検不履行によりマウティングヘッドが緩み、ヘッドとレバーがホイールに接触して損傷した。	○										○
9		〃	○										○
10		モータースイッチのショートにより、テーブルの回転が止まらずホイールが損傷した。	○										○
11	塗装ブース	天井フィルターを固定している部品が落下して車両を損傷させた。落下の原因は締め付け不良と思われる。	○									○	
12	ガレージ・ジャッキ	車両をジャッキアップした際に自然降下して車両が損傷した。原因は不明であるが、逃し弁の作動不良が考えられる。		○								○	
13	油圧プレス	大型車両のホイールがハブから外れないため、油圧プレスで外そうとしたところ、ホイール(ハブ)がずれて押さえていた手を負傷した。	○							○			
14	溶接機	作業ミスによりスポット溶接機のエアークランプで指を挟んだ。	○							○			

平成24年整備機器(リフト以外)事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	機器名	事故発生状況	事故の状況											
			事故の発生場所					人身事故の内訳			物損事故の内訳			
			ディーラー	専門家	ガソリンスタンド	用品店	その他	1ヵ月以内負傷	1ヵ月以上負傷	死亡	乗用車	トラック	その他	
15	トルクセッター用レッグカー	使用中にトルクセッターがレッグカーより外れ、バランスが崩れて吊り上げ台が急激に上昇して作業員が負傷した。原因はトルクセッター固定金具の変形、摩耗と思われる。	○					○						
16	アライメントテスター	2名でアライメントの調整を行っていたところ、1名の作業員が声をかけずに機器を作動させてしまい他の作業員が負傷した。						○						
17	プラズマ切断機	プラズマ切断機で空のドラム缶を切断していたところドラム缶が爆発して負傷した。当該ドラム缶には過去にオイルを入れていたため注意して作業する必要がある。		○				○						
18	リジッドラック	リジッドラックで車両の4か所を保持して整備を行っていたところ、車両が大きく揺れて落下した。原因は部品を取り外す際に力が入り過ぎて車両を大きく揺らしてしまったためと思われる。	○							○		○		
小 計			14	2	1	0	1	3	4	1	7	1	3	
合 計			18					8			11			